

★3学期が始まって1週間がたちました。冬本番、寒さの上に乾燥もしていて、感染症の流行する時期になりました。

さて、菰小では、1月10日現在、冬休み中からのインフルエンザの罹患者が7人、新たに罹患した子が2人、計9人出ています。2学期最終週には6年生のクラスで流行がみられましたが、冬休みに入る直前で学級閉鎖をすることはありませんでした。また、2学期から「百日咳」という感染症が出ています。今まであまり馴染みのない病気なので、戸惑われる保護者の方もいらっしゃるかと思います。そこで、今回の「あおぞら」で、保護者向けに、出席停止の病名や、停止の期間などについてお知らせしたいと思います。

～学校において予防すべき感染症について～

① 第二種の感染症

空気感染、又は飛まつ感染するもので、児童生徒などの罹患が多く、学校において流行を広げる可能性が高い感染症を規定しています。出席停止の期間の基準は感染症ごとに個別に定められています。

この感染症と診断されたら、出席停止になります。(下記の病名は、主なものです。)

病名	主な症状	潜伏期	感染期間	出席停止の期間
インフルエンザ	風邪よりも顕著な発熱・頭痛・腰痛	1～2日	発病後3～7日	発症した後、5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで(5日を経過しなくても、医師が感染の恐れがないと判断した場合は、登校可能)
百日咳	特有の激しい咳 かぜに似た症状	1～2週	1～4週間	特有の咳が消失するまで、または、5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
麻疹 (はしか)	全身の発しん、発熱・ 咳・鼻水	10～12日	症状発現の7 ～10日	解熱後3日を経過するまで
流行性耳下 腺炎(おたふく)	耳下腺の腫脹、 圧痛、発熱	2～3週	1～2週間	耳下腺、顎下腺または、舌下腺の腫脹が発現した後、5日を経過し、全身状態が良好になるまで
風しん (三日ばしか)	発熱、発疹、 頸部リンパ節腫脹	2～3週	3～6週間	発疹が消失するまで
水痘 (水ぼうそう)	発熱、水疱性皮疹 及び粘膜疹	2～3週	発疹がかさぶ たになるまで	全ての発疹が、かさぶたになるまで
咽頭結膜熱 (プール熱)	発熱、結膜炎、 咽頭炎	5～7日	4週間	主要症状の消退後2日を経過するまで

② 第三種の感染症

学校において、流行を広げる可能性がある感染症を規定しています。こちらも診断されたら出席停止です。

病名	主な症状	潜伏期	出席停止の期間
流行性角結膜 炎	急に発症し、眼瞼の浮腫、流涙を 伴う	1週間以上	学校医その他の医師において、感染の恐れがないと認められるまで

③ その他の感染症(第三種の感染症として扱う場合もある)

その他の感染症は、条件によっては出席停止の措置が必要と考えられる感染症です。子どもによって症状や病状が異なるため、具体的には罹患児童の病状や流行の態様を考慮し、医師の意見を聞いた上で、校長が判断するものです。診断されたからといって、必ず出席停止になるものではありません。

病名	主な症状	潜伏期	出席停止の期間
溶連菌感染症	突然の発熱と全身倦怠感などによって発症。軟口蓋の莓舌や猩紅熱などがある。	2～5日	全身状態が良ければ登校は可能
ウイルス性肝炎	学校で配慮すべきなのは、A型肝炎。発熱、全身倦怠感、黄疸などの症状がある。	4～7週間 (A型肝炎)	肝機能が正常に戻ってから
手足口病	コクサッキーA16、エンテロウイルス71により、発疹・口内炎・発熱が起きる。	2～7日	全身状態が良ければ登校は可能
マイコプラズマ肺炎	初発症状は発熱、全身倦怠、頭痛など。咳は当初は乾性の咳だが、経過に従い徐々に強く、解熱後も続く。	2～3週間	症状が改善し、全身状態が良ければ登校は可能
流行性嘔吐下痢症	発熱、下痢、悪心、嘔吐、腹痛などが見られる。	1～3日	下痢・嘔吐症状から消退した後、全身状態が良ければ登校は可能

Q. 百日咳って…あまり聞いたことないけど出席停止なの？

※出席停止になります。症状としては、コンコンと咳きこんだ後、ヒューという笛を吹くような音を立てて、急いで息を吸うような、咳発作が長期にわたって続きます。初期から、連続して止まらない咳が特有で、発熱することは少ないようです。

夜間に咳がひどくなり、年齢が低いほど症状は重く、咳のために眠れなかったり、顔がむくんだりします。子どもによっては、回復するのに2～3週間から数ヶ月もかかることがあります。小学生以上になると、咳の症状がなかなかとれない風邪と思われることも少なくありません。

お願い

※百日咳は、検査して結果が出るまで数日かかるようです。咳の症状があつて受診され、検査をした際は、連絡帳でも構いませんので、学校にもお知らせください。咳がひどい場合は、ご家庭で様子を見る、または、登校する場合には、必ずマスクを着用するようにしてください。

※インフルエンザや、感染性胃腸炎(ノロウイルス)も、これからが流行の本番です。朝の健康観察を強化してください。心配な症状がある場合には、ご家庭で様子を見るか、登校する場合には、必ず熱をはかり、昨夜の様子や今朝の様子など、学校に知らせていただくと有り難いです。

学校でも、予防に心がけています。ご家庭でも予防にご協力をお願いします。